



コバノアリアケカズラ

学名 Allamanda cathartica cv. Grandiflora
 科名 キョウチクトウ
 別名
 区分 まちかど しょくぶつ
 街角の植物
 ぶんぶ ぶんぶ
 南 アメリカ原産 (ブラジル、
 ギアナ)

説
 明

常緑低木で原産地は南アメリカのブラジル、ギアナなどで、海辺に生えます。小葉の有明葛（コバノアリアケカズラ）はアリアケカズラの園芸品種です。葉の小さいのが特徴です。また、蔓性ではなく、低木タイプで樹高は1-2m、葉の質は革質です。開花時期は5月から12月で、花は黄色くて花筒部が長い漏斗形をしており、先は5つに裂けます。

葉の形 だえんけい
 楕円形
 葉の縁 ぜんえん
 全縁
 葉の先 えいけい えいせんけい
 鋭形、鋭尖形
 葉の種類 たんよう
 単葉
 葉の付方 りんせい
 輪生
 葉の基部 はきぶ
 葉の種類 みしゅるい
 蒴果
 花・萼色 はな がくいろ
 黄色